

長野県諏訪清陵高等学校 平成14～27年度SSH講座(SSHコース)課題研究テーマ一覧

年度番号	課題研究テーマ名	年度番号	課題研究テーマ名
1	1501 C言語プログラミング	96	2016 葉の構造と糖度
2	1502 ドミノの運動	97	2017 オーロラ電波の観測と解析
3	1503 蛍光物質の合成	98	2018 雪の結晶
4	1504 細胞融合への道	99	2019 雪層の成分分析
5	1505 微分について	100	2020 オーロラ動画撮影
6	1506 自動文章作成プログラム	101	2021 フェアバンクスと諏訪のトウヒ属の浸透圧比較について
7	1507 低気圧と雲の関係	102	2022 日本とアラスカでの放射線測定
8	1508 ミジンコを用いた薬物影響の研究	103	2023 気温の逆転現象
9	1509 太陽電池	104	2024 緯度による重力加速度の違い
10	1510 自家製線香花火	105	2025 オーロラと地磁気
11	1601 ブラックジャックで勝とう	106	2026 新芽の耐寒戦略-クラウン組織に着目して
12	1602 光センサーとその利用	107	2027 諏訪とフェアバンクスの磁場の違い
13	1603 脳の活性化と音	108	2101 腹楽器の音程の変化
14	1604 人工宝石の製作	109	2102 数学パズル
15	1605 プラナリアの再生	110	2103 魔方陣の特定
16	1606 新種の植物を作ろう	111	2104 クマムシ分布調査
17	1607 筋疲労について	112	2105 花の色
18	1608 大陸移動の不思議	113	2106 紫外線の反射
19	1701 音が植物に及ぼす影響	114	2107 地形による気温推移の違い
20	1702 魔方陣の作成方とその総数	115	2108 オーロラの出現位置と形状の時間変化
21	1703 金属イオンの置換によるミョウバンの着色	116	2109 オーロラのスペクトル
22	1704 響棒の位置によるギター音色の変化	117	2110 オーロラからの電波
23	1705 清陵高校の最低最高気温の観測および雲の発生実験	118	2111 地球磁場の変動
24	1706 電磁式地震計製作および観測による諏訪盆地の地震動の解明	119	2112 雪
25	1707 果実から取り出した酵母の培養と特性	120	2113 雪の中の塵
26	1708 銅の合金の製作	121	2114 水の硬度による味への影響
27	1801 アラスカの雪層	122	2115 高野豆腐のスポンジ構造の由来方と気象条件の関係
28	1802 放射線観測レポート	123	2116 植物の糖度測定
29	1803 アラスカと日本から見える星座の違い	124	2117 植物のクラウン組織
30	1804 つららの有無と道路の雪質分類	125	2118 周囲の環境による血圧の変化
31	1805 雪の結晶(アラスカと日本の、雪の結晶の比較)	126	2119 地磁気の変化による人体への影響
32	1806 オーロラのスペクトル分析	127	2120 扇風機からの反射音の変化
33	1807 日本(諏訪)とアラスカ(フェアバンクス)の植物の違いについて	128	2201 共振による物体破壊
34	1808 アラスカの雪の成分考察	129	2202 色素増感型太陽電池の研究
35	1809 ダイヤモンドダストの結晶の成長段階	130	2203 人工コランダム生成
36	1810 日本とアラスカのシャボン玉の大きさの比較	131	2204 オオカナダモの紅葉
37	1811 毛嚢とストレスの関係	132	2205 美味しい高野豆腐を目指して(3)
38	1812 霧ヶ峰とアラスカの植物の比較	133	2206 アラスカオーロラ観測(6)～立体観測による高度測定～
39	1813 北磁極測定	134	2301 ポインセチアの花芽形成
40	1814 アラスカと霧ヶ峰の植生から環境変動を考える	135	2302 メントスガイザーのCO2
41	1815 諏訪の植物とアラスカ州フェアバンクスの植物の糖度	136	2303 鍾乳石の生成
42	1816 諏訪とアラスカのシャボン玉の割れやすさの違い	137	2304 生薬の菌に対する抗生作用
43	1817 ストレスによる体温・血圧・脈拍数の変化	138	2305 反応の本質を探る～反応速度と活性化エネルギーの算出～
44	1818 諏訪(霧ヶ峰)とアラスカの植物の比較	139	2306 Excelを用いた交通渋滞シミュレーション
45	1819 オーロラの動画撮影	140	2307 15パズルとあみだくじ
46	1820 シャボン玉に含まれる糖の濃度による凍結までの時間の差	141	2308 フラックス法の時間設定とルビー結晶の大きさ
47	1821 北磁極の測定	142	2309 高高度発光現象「スプライト」の観測
48	1822 地・雪・大気の大気温度変化	143	2310 コイルガンの最大効率
49	1823 水道水の比較	144	2311 続・数学パズル
50	1824 アラスカと日本の気圧	145	2312 モジホコリカビの迷路解読における学習能力の有無
51	1825 アラスカと諏訪の大気汚染物質濃度の比較	146	2313 御紙漉の作成
52	1826 オーロラのフィルター撮影について	147	2314 人工ダイヤモンドダスト
53	1827 人工と天然のダイヤモンドダストの比較	148	2401 ミルククラウンの形成
54	1828 重力加速度の測定	149	2402 人工コランダム生成
55	1829 機内測定 気象測定	150	2403 守屋山のカキ化石
56	1901 諏訪とアラスカの植物比較	151	2404 高高度発光現象「スプライト」
57	1902 アラスカ・諏訪の植物の糖分比較	152	2405 合成洗剤の合成と測定
58	1903 オーロラ動画・分光観察	153	2406 ミジンコに対する環境の影響
59	1904 オーロラ電波観測	154	2407 真正粘菌の生活
60	1905 斜面を使った重力加速度測定	155	2408 粘菌の情報伝達
61	1906 雪の成分考察	156	2409 大腸菌の増殖を防ぐシートの制作
62	1907 アラスカと日本の磁場の違い	157	2410 身の回りの細菌
63	1908 シャボン玉に含まれる糖度による凍結までの時間の差	158	2411 ビートルズ～ヒットの秘密～
64	1909 アラスカと諏訪の気温について	159	2412 円周率の求値と和算
65	1910 環境の変化による血圧、脈拍の変化	160	2413 双子素数に関する考察
66	1911 雪の結晶と成分分析	161	2501 イオンクラフト～放電で風を起こす～
67	1912 雪の成分分析による考察	162	2502 色素増感太陽電池～ネギの色素のHow to use～
68	1913 アラスカと日本の気圧変化と違い	163	2503 スプライトの観測と正極性落雷の関連～自作受信機の製作と電波観測～
69	1914 諏訪とアラスカの重力の違い	164	2504 コケの分布とクマムシの生態
70	1915 振り子による重力加速度測定	165	2505 諏訪湖の菱の有効活用
71	1916 Distinction Of Aurora	166	2506 植物の成長と光
72	1917 アラスカの気候	167	2507 硫化亜鉛蛍光体の燐光・輝尽
73	1918 日本とアラスカの紫外線量の比較	168	2508 フラックス法によるルビーの生成～六方面錐形結晶を目指して～
74	1919 耐寒性と糖度	169	2509 振動反応について～酸化還元反応のせめぎ合いの果てに～
75	1920 アラスカと諏訪の気象比較	170	2510 偶然の確率～主観的確率(直観)による判断はどこまで適切か～
76	1921 風とオーロラの関係	171	2601 色素増感電池～効率の良い発電を目指して～
77	1922 北極点測定	172	2602 マッチ棒問題の研究
78	1923 目で見る重力加速度	173	2603 スプライトの発生条件～電波観測による雷規模の推定～
79	1924 オーロラの高さの測定	174	2604 大腸菌を防ぐ天然の抗菌シート作り
80	1925 オーロラ速度	175	2605 変形菌モジホコリの諸性質
81	2001 レプリカ液による結晶の保存	176	2606 みその秘密にせまる
82	2002 太陽風とオーロラの関係	177	2607 フラックス法による人工ルビー結晶の育成
83	2003 周囲の温度変化に対する人体の対応	178	2608 セリウムを用いたBZ反応の第一振動と第二振動の関係性
84	2004 雪の結晶から見る上空の大気状況	179	2609 圧力分散型堤防の可能性
85	2005 太陽風とオーロラの間隔をさぐる	180	2610 楽器音の分解と合成
86	2006 シャボン玉の凍結	181	2701 風洞を用いた飛行機に関する研究(物理)
87	2007 日本とアラスカで見える星の違い	182	2702 酸と金属による振動反応(化学)
88	2008 北半球での緯度による重力加速度の違い	183	2703 ふたご座流星群 ～二点観測による軌跡解析～(地学)
89	2009 オーロラと地球磁場の関係	184	2704 マッチ棒の問題の追求(数学)
90	2010 シャボン玉	185	2705 卵白の抗菌効果の研究～玉子酒は病気に効くのか～(生物)
91	2011 時系列データの数値解析	186	2706 津波の軽減を目的とした新型防波堤の開発(物理)
92	2012 太陽光の照度の観測	187	2707 微生物燃料電池と有機物の関連性(化学)
93	2013 雪層	188	2708 落雷の電荷モーメントとスプライトの関連性(地学)
94	2014 紫外線量測定	189	2709 オセロ必勝法～先読みから分かる最善の一手～(数学)
95	2015 オーロラの位置の計測	190	2710 海なし県長野での塩害を防ぐために
	※ 年度番号2015は、平成20年度15種類目を意味する。	191	2711 セリウムによるBZ振動反応の分離とその波形の解析(化学)